

# 令和5年度第1回推進会議において出された意見と対応経過

資料3

<テーマ> ACPについての冊子を活用した普及啓発について

意見	現状（R6.1現在）
<b>◎ 配布方法</b>	
<p>・葬儀場や火葬場のような場所に設置すると、自分のことを考えるきっかけになるのでは。</p>	<p>市内の葬祭事業者あてに送付・設置依頼済み。</p>
<p>・65歳以上を対象に、介護保険証を発送するタイミングで配布しては。</p>	<p>担当課と調整中。</p>
<b>◎ 冊子の改善案</b>	
<p>・紙媒体だと残しにくいところがあるので、A4の1枚ぐらいで電子的に残せるようなものであると、より現場で活用しやすいのではないか。</p>	<p>見直しの検討中。</p>
<p>・他市町では「花道ノート」みたいな言葉で作っている冊子があるようで、そういった名称だと「今からどう生きていくかを考えるもの」になり、専門職も使いやすい。</p>	
<p>・冊子の中身にもう少し注釈や補足、書き方ガイドがあれば書きやすいのでは。「死期が迫っている」想定で記入するとしてあるが、その死期が一カ月後か、半年後か、などの設定でも変わってくる。</p>	
<p>【市民講演会で出たご意見】                      ・「思いを伝えてくれる人」の項目で「自分で決められなくなったら、代わりに誰に決めてほしいか」との記載があるが、人任せではなく「自分で決める」ということが前提である、と伝わるよう書き方に変えてみては。                      ・「希望する医療やケア」の項目では胃ろう、点滴など具体例があった方がよい。</p>	
<b>◎ その他</b>	
<p>・薬局は利用者が多いので、薬局のモニターでACPの説明、冊子に記入するための前後の話などを流しては。</p>	<p>モニター用動画の作成や配布を検討する。</p>